

平成18年度 うるま市 中学生の税の 標語・作文を 表彰

中学生に「税に対する意識を高め
社会参加・社会貢献へ意欲を育てる」
ことを目的に、沖縄税務署の支援協
力受け、うるま市租税教育推進協議
会が主催したもので、募集した税の
標語、作文の表彰式が勝連シビック
センターで行われました。応募数は、
標語823編、作文2668編に上
りました。

今回作品の中から、標語10名、作
文12名が選ばれ表彰されました。標
語の部では「うるま市長賞」に具志
川東中3年安慶名成恵さん、「うるま
市教育長」に具志川中3年上里幸生
さん、作文の部では、「沖縄税務署長
賞」にあげな中3年池宮城媛子さん
が受賞しました。
表彰された子ども達は、晴れやかな
笑顔で記念撮影に臨んでいました。

標語

【うるま市長賞】
あなたの税 広く便利に
あなたのもとへ

うるま市立具志川東中学校
安慶名 成恵

【教育長賞】
税金で みんなとつながる
一つの輪

うるま市立具志川中学校
上里 幸生

作文

【沖縄税務署長賞】
未来へつなぐ納税の輪

うるま市立あげな中学校
池宮城 媛子

ている障がい児です。

障がい児は、国から「特別児童扶養
手当」という、見ず知らずの赤の他人
が払った税金から成るお金をもらうこ
とができます。

その「特別児童扶養手当」は、ただ
もらっているわけではありません。こ
の子が将来、仕事ができなくて、お金
がない時に、子供のころ親がコッソツ
ためてきた貯金があれば、どんなに助
かるか・・・。そんな将来のためや、
車イス、病院など、障がい児は、普通
の子の二倍はお金がかかります。

だから、税金は決して無駄ではない
のです。この地球に、人類が存在し、
豊かで楽しく平和な生活を送っている
限り、税金は必要不可欠なのです。

沖縄の方言で、「ゆいまーる」と言う
言葉を知っていますか？

「ゆいまーる」とは、「助け合い」です。
まさに税金は、「ゆいまーる」です。

税金は、おじいちゃん、おばあちゃん、
障がい児などを助け、発展途上国の貧
しい国に、食料や薬を寄付し、温暖化
が進んでいる、世界にただ一つしか
ない地球を守り、日本国民全員の幸せを
願う、優しいお金。

税金は、親から子へ、子から孫へと
世代交代をしながらも、払われ続け、
地球を、世界を、そして日本を、優し
く包みこみ、幸せを運んでくれる未来
への掛け橋です。



▲表彰を受け晴れやかな笑顔の子どもたち